

令和4年度 利南東小学校学校経営方針

R4. 4. 4 校長 大竹 敏之

1. 学校教育目標(本校の一番の基本:迷ったら戻るところ) …… 目的

【基本目標】

社会の変化に**主体的**に対応できる豊かな心、高い知性、強い意志を備え、生き生きと**自己表現**でき、心身ともにたくましい**実践力**のある子どもを育成する。

【具体目標】(目指す児童像)

- ・すすんで勉強する子(自ら進んで勉強する子) …… **知**
- ・思いやりのある子(他人の気持ちになって考え、助け合う子) …… **徳**
- ・心身ともに健康な子(元気に明るく毎日を過ごせる子) …… **体**
- ・ねばり強くやりぬく子(目標を持ってしっかりがんばれる子) …… **態度**

2. 学校経営の方針・目指す姿(具体的に何をして何をを目指すか)

【基本方針】全教職員の力を合わせた指導と学校経営参画(一枚岩・同一步調)

<目指す学校像>「自信と誇りにあふれた学校」

【TONAMIプライド】じぶんのいいところ・ともだちのいいところ・がっこうのいいところ・となみのいいところ

- ①子どもが自分に自信をもち、友達・学校・地域を誇りに思う学校
- ②教師が、子ども・学校・地域を誇りに思う学校
- ③子どもを一番に考える学校(子どもの立場で考える・子どもファースト)
- ④保護者・地域から応援・自慢される学校

<目指す教師像>「子どものよさをみつける教師(ほめることを考える教師)」

- ①常に「子どもの目線」で考える教師
- ②力を合わせ、組織として課題を解決する教師
- ③互いに気遣い、「自分のこと」として考える教師
- ④理論より「まず動く」教師(率先垂範・師弟同行)
- ⑤本質を見つめ、「目的と手段」を区別する教師

<目指す授業像>「子どもが中心で、教師は補助する授業」

- ①教えたことをもとに、常に自分の考えをもたせる授業
- ②「やる気」にさせる授業(「ワクワク・できそう・勉強してよかった」)
- ③「小さなハードル」と「成功体験」を積み重ねる授業
- ④「日常生活」と結び付ける授業
- ⑤「ゴール」がはっきりしている授業

3. 本年度の努力点（目標を実現するために特に何をするか）・・・手段

①安全の確保と健康の保持増進（最重点：子どもの命を徹底的に守る）

- 命を守るため、登下校と緊急時の安全確保（通学路の安全点検・登下校の行動指導）
- 新型コロナウイルス対策の徹底（学校保健委員会の充実・家庭との連携強化）
 - ★活動のリスクを考え、様々な場面で対策を取ることで教育活動の幅を広げる。
- 体力向上プランの推進（運動機会の意図的な設定による運動量の確保）

②確かな学力の向上

- ICTを活用した振り返り学習の徹底による基礎的な知識・技能の確実な定着
- ICTを活用した問題解決的な学習（同一過程）の充実による思考力・表現力の育成
- 教科ごとの見方・考え方を計画的に位置付けた主体的・対話的で深い学びの充実
- 教科担当制の活用による専門性を生かした指導の充実と多面的な生徒指導の充実
- ALTと計画的に協働した外国語活動及び外国語科の授業の充実
- 家庭との積極的な連携による自主的な学習習慣の確立

③豊かな心の育成

- 自分に自信をもつ指導の推進（自己肯定感・自己有用感・自己効力感を高める指導・支援）「得意・好き・やりたい」
- 考え議論する道徳の充実（教材研究の深化と考えを揺さぶる発問の意図的な設定）
- 特支コーディネーターを中心に全教職員が組織的に関わる特別支援教育の実践

④家庭・地域、幼・中との連携

- 保護者との意図的・積極的・計画的な連携（互いに顔が見える関わり）
- 各種たよりやWebページによる家庭や地域への情報発信の充実
- 「地域で育てる地域の学校」の実現（PTA・学校支援ボランティアとの協働）
- 外部機関と積極的に連携した教育相談の充実（SC・SV・SSW・福祉部局）

⑤全教職員の経営参画と職能成長

- 各主任が中核となる組織的な分掌運営の充実（コーディネーター意識の向上）
- 組織的な情報共有と迅速な対応の実現（危機意識、報告・連絡・相談・確認・記録）
- 教育公務員としての高い倫理観と服務規律意識の向上（子どもに背中を語る教師）
- 業務削減と効率化、働き方改革の継続とさらなる充実（ベター業務・マスト業務）